

柿本議員（民主県政会）

令和3年2月22日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）日本一の教育県の実現に向けたICT教育の推進について

最適な教材を見極め活用することが、今後の本県のICT教育を支える上で重要な鍵になると思うが、学校により使用する端末が異なる環境の中、それぞれの端末に応じた教材選定の手法及び選定に当たっては、どこが主導して行っていくのか、また、学びの変革や個別最適な学びを牽引し、日本一の教育県の実現を目指していくため、ICTの効果的な活用を通じた、県独自の取組をどのように推進していくのか、併せて教育長に伺う。

（答）

各県立学校及び市町教育委員会では、それぞれの教育目標や育てたい生徒像を明確にし、特色ある教育を進めております。

一人1台のコンピュータの導入に際しましても、各校長及び市町教育委員会が主体となって、各学校の特色に応じた端末や教材の選定を行っているところでございます。

一方、本県では、国のGIGAスクール構想に先駆けて、県立学校における一人1台のコンピュータの導入を進めてまいりましたことから、その実績を基に、県内全ての公立学校の児童生徒及び教員が共通して使える基盤として、どの機器でも使用できる汎用性の高い学習用クラウドサービスの活用に取り組んでまいりました。

また、教員研修におきましても、このクラウドサービスを全面的に活用し、カリキュラム・マネジメントや単元づくりなど、あらゆる教育活動でデジタル機器を効果的に使うことで、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることにより、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めております。

今後とも、市町教育委員会と協力しながら、児童生徒が日常的にデジタル機器を活用し、主体的に学ぶ姿勢の育成を推進してまいります。